

10/31 第2回年末手当交渉

社員の働きや家族の期待を反映し3.5ヶ月の支給を!

国労東海本部は10月31日、年末手当で具体的な交渉を行いました。

国労の主張

- 1 社員の生活向上のためには昨年を超える年末手当が必要。
- 2 年末手当の使途は世間もJR社員も生活費の補てんや将来の不安を払しょくするための貯金となっている。生活給としての要素は大きい。
- 3 業績は今年も好調。増収増益を続け、全体でも上方修正。社員の期待は大きい。
- 4 大規模工事や列車本数の増加を超過勤務や休日労働で支える社員の働きを評価すべきだ。
- 5 JR東海の安全・安定輸送を支え続けている社員の貢献度を高く評価し要求に応えよ。

会社見解

- ・会社業績は良好。景気動向は大きな不安材料はなし。当社の年末手当は世間相場に比べると非常に高い水準にある。
- ・安定的支給は確保しているが、あといくつ上積みするかということである。
- ・社員の頑張りについて評価している。

**社員・家族の期待に応えた回答を！
職場から満額獲得を目指して闘いを
作り上げよう！**



国 労 東 海 か べ 新 聞

国鉄労働組合東海本部

編集責任者：渡邊 和久

国労東海本部ホームページ

<http://www.kokurotokai.com/>